

バス停からの小さな旅 展

●会期 3.23(木) - 5.8(日)

●会期中の休館日 3月28日 4月4日、11日、18日、25日 5月2日

●会場 美術工芸展示室 ●観覧料 無料

日々のせわしい暮らしで、通り過ぎてしまっている場所。ちょっと足を止めて見てみると、今まで気が付かなかったものや景色など、思いがけない発見をすることがあります。身近なところこそ、面白いものはいっぱいあります。
市のコミュニティバス「あい愛バス」に乗り、バス停から少し歩くことで味わえる身近な「ちょっとした旅」を、みのかも広報で2019年5月からご案内をしてきました。そのスポット36か所を、関連する写真とともに一堂に紹介いたします。



観覧無料

SHOP NEWS ミュージアムグッズ・刊行物の紹介

商品価格はすべて税込みです。

「鉄道のまち～美濃太田駅開業から100年～」展
2021.12.18から2022.3.6まで
関連商品



向龍館『松茸の釜飯』
缶バッジ
100円



クリアファイル
A4判・250円



「鉄道のまち展図録」
A4判・P22・400円

文化の森へ、貴重な資料を寄贈していただきました。ありがとうございました。

『特別展 ふるさとの昆虫』ほか4冊
安藤 志郎さん(川合町)

染色に関する資料や書籍など5点
水谷 武彦さん(太田町)

遺跡から出土した昆虫遺体に関する論文3点
千藤 克彦さん(岐阜市)

長谷川三佐男 水彩画7点
平野 雅和さん(安城市)

日本近代の石版画、現代版画3567点ほか
糸魚川 登美子さん(瑞浪市)

鈴木清次郎撮影写真 ガラス乾板
鈴木 勲さん(太田本町)

現代美術作品
佐光 壽さん(太田町)

松永優 水彩画「塔婆」
佐曾利 松生さん(富加町)

田畑組書類
田畑組(本郷町)

掛け軸 ほか
森 俊郎さん(古井町)

縄文土器
紅村 京子さん(名古屋市中)

棟札 ほか
尾崎 宗範さん(蜂屋町)

座馬井邸手紙
川合 良樹さん(蜂屋町)

円空作薬師三尊像
大竹 士郎さん(蜂屋町)

蓄音機 ほか
渡辺 誠治さん(本郷町)

石器
田原 直仁さん(川合町)

行李
戸谷 和雄さん(古井町)

カメラ ほか
片桐 佑美さん(山之上町)

カメラ(3台)
匿名

山之上獅子舞道具一式
山田 一郎さん(山之上町)

セイタ
山田 文憲さん(川辺町)

矢立
福住 久史さん(本郷町)

蚊帳(子供用)
高島 路子さん(西町)

パリカン ほか
長谷川 政夫さん(加茂川町)

膳椀(子供用)
高橋 良子さん(本郷町)

駅弁の掛け紙
向龍館(中富町)

農具
木澤 正廣さん(伊深町)

昭和時代の調理道具など
匿名

■ご利用のご案内

開館時間 9:00～17:00
(ただし、施設の貸出し利用は8:30～22:00まで)

休館日 月曜日
(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館)

年末年始
【3・4・5・6月の休館日】
3月28日、4月4日、11日、18日、25日
5月2日、9日、16日、23日、30日
6月6日、13日、20日、27日

■交通

- 鉄道 JR名古屋から美濃太田駅まで東海道本線・高山本線経由、特急「ひだ」で約40分 美濃太田駅北口から徒歩約17分
- 自動車 東海環状自動車道美濃加茂Cから約5分
- あい愛バス JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車(乗車時間約10分) ※時刻表など詳しくは、あい愛バスのホームページをご覧ください。
<http://aiiai-bus.com/>



行き		帰り	
美濃太田駅北口発	文化の森着	文化の森発	美濃太田駅北口着
9:08	9:18	9:59	10:10
10:48	10:58	11:39	11:50
13:33	13:43	14:24	14:35
15:15	15:25	16:06	16:17

運賃 / 一般100円 中学生以下無料

Instagram Follow Me!
minokamo_bunkanomori_official
展覧会情報のほか、風景・アート・収蔵資料など、みのかも文化の森の魅力を発信していきます。

Webでも楽しもう！文化の森

【ふらりと展示室】

美濃加茂市民ミュージアムにある常設展示室をWEB上で見られます。気軽に「ふらり」と立ち寄って、気の向くままにページを開いてみてください。そして、何かここで感じたことがあれば、それを確かめこの展示室や現地を訪れてみてはいかがでしょうか…

文化の森HP <http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>
→ふらりと展示室

【美濃加茂事典】

美濃加茂地域を中心とすることがらを事典形式で解説。
文化の森HP
<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>
→データベース→美濃加茂事典



みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム
MINOKAMO CITY MUSEUM
<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

〒505-0004
岐阜県美濃加茂市
蜂屋町上峰屋3299-1
TEL: 0574-28-1110
FAX: 0574-28-1104



…想いを巡らし、はじまる森…
MUSEUM NEWS みのかも文化の森
vol.105
2022年3月25日発行

森が大切にしているもの



「災害調査書」など

今まで度重なる水害に見舞われてきた甘屋村。これは当時の区長が、伊勢湾台風の被害の様子を手記したノート類です。災害を記録し、記憶し、教訓として後の人々のために残そうという意志が感じられます。

Bunkanomori Special exhibition !

好奇心の向かうところ、林 魁一 展

●会期 4.23(土) - 5.29(日)

●会期中の休館日 4月25日、5月2日、9日、16日、23日

●会場 企画展示室
●観覧料 無料

観覧無料

はやしがいち
明治、大正、昭和に生き、その変化を太田から見つめ続けた林 魁一 (1875-1961)。旺盛な好奇心のあり方、地域の歴史や文化に寄せた思い等から、明らかになりつつある魁一のまなざしを紹介します。



林 魁一(晩年)

学究の人



弥生土器
現 古井町下古井出土 / 個人蔵

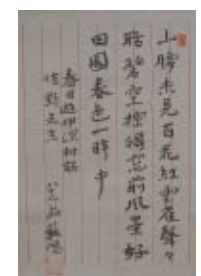
—今でいう「考古学」では、当時、あまり知られていなかった、可児・加茂郡はもとより、岐阜県内の遺跡や出土品の調査研究を進めました。また「民俗学」では、太田地区をはじめ、県内各地の農村を訪ね、伝統的な生活、文化慣習等を丹念に記録しました。

これらの成果は、地元から全国的な学会へ積極的な発信を続け、広めました。教養を乞うために、県内外から来訪する人々を快く受け入れました。

太田の人

—代々続く林家の当主として、さらに政治家として、太田町長、岐阜県議会議員に推され、就任しました。また農事改良(農業の新しい技術や作物の普及・導入)や道路改修への尽力、青少年への教育等、地域の発展を願った活動を続けました。

文化交流



—日々の思いを俳句や漢詩として表現し、文芸などの創作活動に勤しましました。それらの雅号には「蘇陽」「鴨南」と称しています。自身の作品を知人へ贈っていた姿も知られています。
絵画などの芸術にも関心が深く、作家たちとの交流も多かったようです。

漢詩 春日遊伊深村訪 佐野先生
八十二翁 蘇陽 / 個人蔵

forum & event	日時	会場	内容
ミュージアムトーク 「林 魁一」を掘る	4月23日(土) 4月27日(水) 5月1日(日) いずれも 13:30-14:30	企画展示室	<ul style="list-style-type: none"> 展示解説: 当館学芸員 参加無料 定員: 20名 当日受付: 先着順
展覧会を掘る 「読んでみよう 魁一の『日記』」	5月15日(日) 5月28日(土) いずれも 13:30-15:00	研修室	<ul style="list-style-type: none"> 担当した学芸員と一緒に、大正時代に綴られた日記を実際に読んでみます。日記からは、魁一の日々の活動、交流した人々、日常の風景がまざまざと浮かび上がってきます。 講師: 当館学芸員 定員: 20名 参加無料 事前申し込み(応募者多数の場合は抽選) 【4月8日(金)～5月1日(日)】 はがき、ご来館、ホームページ専用フォームで申し込み